

FUKUCHIYAMA CITY HOSPITAL

市立福知山市民病院広報誌

第37号

R8. 8. 発行

発行：市立福知山市民病院

〒620-8505 京都府福知山市厚中町 231

TEL 0773-22-2101 FAX 0773-22-6181

URL <https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/hosp/>

日本医療機能評価機構認定病院・地域がん診療連携拠点病院・地域救命救急センター・地域災害医療センター・地域医療支援病院

「命と健康を守り、信頼される病院」



◇院長あいさつ

—— 急性期病院 A 取得と DPC 機能評価係数 II 京都府第 1 位 ——



市立福知山市民病院
病院長・病院事業管理者

阪上 順一

盛夏の候、地域の皆さまには平素より市立福知山市民病院に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
当院は本年 6 月 1 日、「急性期病院 A」を取得いたしました。急性期病院 A とは、特定の診療領域に偏らず、救急医療、手術、重症患者対応に加え、小児から高齢者まで多くの疾患を幅広く受け止める力が問われる、高いハードルの評価です。当院は、京都府北部、中丹・丹後地域では唯一の急性期病院 A として、地域医療における責任が一層重くなりました。

また、DPC 機能評価係数 II では 4 年連続で京都府第 1 位となり、令和 8 年度の係数は 0.1354 で、全国 1,685 病院中 46 位、近畿厚生局管内 301 病院中 5 位に相当します。本係数は、国が 3 年に一度病院に手渡す「成績表」のようなものです。1 日約 1,000 人の外来患者さんをお迎えする市立福知山市民病院の日々の現場で、職員一人ひとりがコツコツ積み重ねてきた努力が、数字として示されたものと受け止めています。

6 月の診療報酬改定後も病院経営は厳しい状況が続きますが、私たちは地域医療を守る最後の砦として、職員一丸となって信頼される医療を積み重ねてまいります。

目次

肝臓内科外来のご紹介 2

脳神経内科のご紹介 4

「画論 33rd The Best Image」優秀賞受賞 5

新任医師紹介 6

栄養レシピ 7

外来週間診療予定表 8

基本方針

- 1 福知山地域における基幹的総合病院を目指します。
- 2 救急医療体制を充実し、いつでも安心して受けられる医療を提供します。
- 3 がん治療など高度な医療を推進します。
- 4 地域の医療・保健・福祉機関と連携を深め、地域医療の向上を目指します。
- 5 時代の変化に対応し、患者さま本位の医療を実践します。
- 6 快適な環境の創造と経営安定に努めます。

患者さまの権利と義務

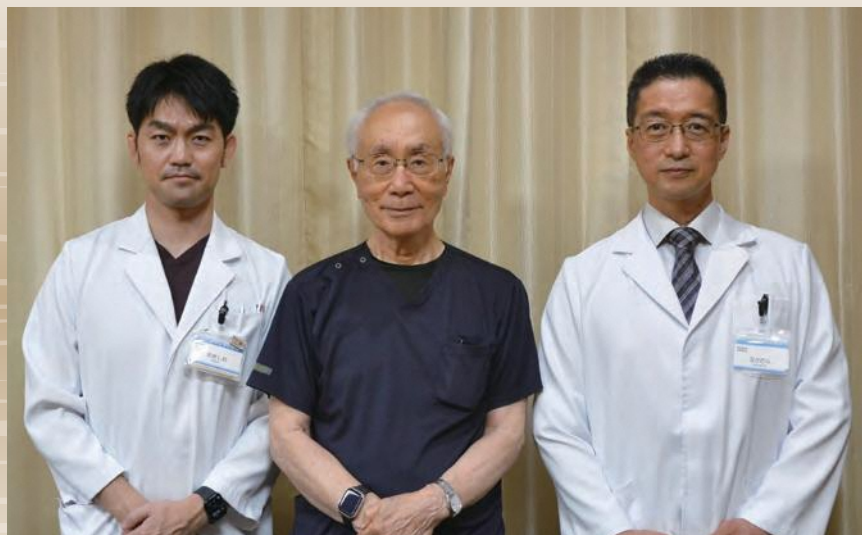
- 1 個人の人格が尊重され、安全で良質な医療を受けることができます。
- 2 自分の受ける医療について、十分な説明を受けた上で、自分の意思で医療の選択をすることができます。
- 3 自分の受ける医療について、わからない点は医療スタッフに質問することができ、診療情報の提供やカルテの開示を求めることができます。
- 4 診察時のプライバシーや診療についての個人情報には厳密に保護されます。
- 5 自分の受ける医療について、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができます。
- 6 自分の症状についての情報は、医療スタッフに正しく伝える責任があります。
- 7 病院の規則を守っていただくとともに、他の患者さまの診療、療養に支障を与えないようにする義務があります。

肝臓内科外来のご紹介

- 当院肝臓内科外来では、B型肝炎、C型肝炎、脂肪性肝疾患、自己免疫性肝疾患、薬物性肝障害、肝硬変、肝細胞癌治療などの幅広い肝疾患における専門的な診断、治療を積極的に行っております。このうちB型肝炎、C型肝炎、脂肪性肝疾患、肝硬変、肝細胞癌治療について御紹介します。
- B型肝炎ウイルス（HBV）感染によって起こるB型肝炎は出産時ないし乳幼児期に感染すると、9割以上は持続感染となります。そのうち約9割は若年～青年期に一過性の肝炎を起こしたあと、HBVの量が自然に減少して肝炎がおさまります。しかし、残りの約1割ではHBV量が減らず、肝炎が続きます。このような患者さんには肝発癌、肝疾患関連死を抑えるため、HBVの増殖を抑える効果のある核酸アナログ治療の適応となります（公費による医療費助成制度があります）。また、HBV感染したことのある患者さんに免疫抑制治療や抗がん剤の治療を行う場合、HBVが増えて重症の肝炎を起こすおそれがあり、核酸アナログ治療の適応となる場合があります。2025年度に当院外来で核酸アナログ治療を行った患者さんは計116名でした。
- C型肝炎ウイルス（HCV）感染によって起こるC型肝炎について、肝発癌、肝疾患関連死を抑えるため、HCV排除を目指します。かつてはインターフェロンを含む治療が主流でしたが、2014年に登場した経口抗ウイルス薬によってC型肝炎の治療は大きく変わりました。経口抗ウイルス薬はインターフェロンに比べ治療効果が高く、かつ副作用が少ないため、現在では全てのC型肝炎の患者さんが抗ウイルス治療の対象となります。当院では2014年11月から2025年10月までの11年間、231名のC型肝炎の患者さんに対して経口抗ウイルス薬治療を行い、うち230名の患者さんでHCV排除することができました。経口抗ウイルス薬は1回（8～12週）の治療で290万～520万円程度かかる高額なお薬ですが、治療には公費による医療費助成制度があり、自己負担額として月額1万～2万円で治療を受けることができます。
- 現在、HBV、HCV検査を府の委託医療機関や保健所で無料で受けることができ、当院でも電話予約をすることでHBV、HCV検査を無料で受けることができます。

一生に一度はHBV、HCV検査を受けるようお勧めします。

- 脂肪性肝疾患、いわゆる脂肪肝とは、肝臓に脂肪が多くなつた状態をいいます。2023年に国際的な合意による名称変更があり、脂肪性肝疾患の中でも、肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの心代謝系危険因子が1つ以上あり、エタノール換算で男性<30g/日（アルコール度数



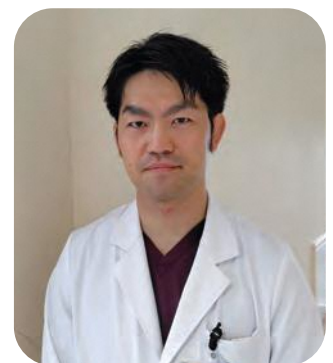
置塩副医長

香川名誉院長

中村医師

5%のビール750mlに相当)、女性<20g/日(アルコール度数5%のビール500mlに相当)と比較的飲酒量の少ない患者さんを、代謝機能障害関連脂肪性肝疾患(MASLD、マッスルディー)と呼ぶことになりました。単なる肝臓病ではなく、全身疾患として取り扱われるようになりました。MASLDの中でも、肝臓での脂肪化、炎症に伴って慢性的に進む肝臓の線維化が生命予後に大きく関わってきます。以前は肝線維化の病態評価のために肝生検を行う場合がありましたが、近年では肝線維化進行度を血液検査(血小板数、FIB-4 index、Ⅳ型コラーゲン7sなど)、超音波での肝硬度測定といった非侵襲的検査のみで判断することが多く、当院でも積極的に行っています。治療は食事療法、運動療法による生活習慣の改善が中心となり、体重減少を目指します。生活習慣改善のみで効果が十分でない場合は、肥満症、2型糖尿病、脂質異常症といった併存疾患があればこちらに対する薬物療法を中心に行います。当院でも各科、近隣医療機関と連携して積極的に治療を行っています。

- 肝硬変とは、B型・C型肝炎、多量・長期の飲酒、過栄養、自己免疫などにより起こる慢性肝炎が徐々に進行して肝臓が硬くなった状態をいいます。肝硬変では、全体の肝機能が低下するために、腹水、肝性脳症、黄疸、食道胃静脈瘤、出血傾向など、さまざまな症状、病態が現れてきます。このうち、腹水、肝性脳症、黄疸が認められる肝硬変を「非代償性肝硬変」と呼び、認めないものを「代償性肝硬変」と呼びます。病態に合わせて禁酒などの原因除去、塩分制限などの生活習慣指導、薬物治療、内視鏡治療などを行っていきます。肝硬変には肝臓を合併しやすいので、定期的な血液検査での肝臓マーカーの測定に加え、超音波検査、CT、MRIで肝臓の有無を確認します。当院でも多くの肝硬変患者さんの診断、定期的なモニタリング、様々な治療を行っています。肝硬変と診断され2025年1月～3月の間に当院消化器内科に通院された患者さんは81名であり、肝硬変の原因の内訳としてアルコールが27名、MASLDが18名、HCVが16名、HBVが7名、その他の原因が13名でした。
- 肝臓の治療としては、外科的切除、内科的治療(穿刺治療、血管内カテーテル治療、抗がん剤治療)、放射線治療、肝移植など、様々な治療があります。当院では肝移植以外のほとんどの治療を行うことが可能であり、放射線科(IVR医、放射線治療医)、消化器外科医など他科の先生と協議して治療方針を決めています。当科では超音波ガイド下ラジオ波焼灼療法(RFA)、エタノール注入療法(PEIT)等の穿刺治療、抗がん剤治療を行っています。当院では2016～2025年度の10年間の肝細胞癌、転移性肝臓癌に対するRFA件数は136件、2025年度のRFA件数は18件でした。血管内カテーテル治療(肝動脈塞栓術:TAE、肝動脈化学塞栓術:TACE、肝動注化学療法)においては放射線科と共同、連携して治療を行っております。当院での2025年度の血管内カテーテル治療は13件でした。
- 健診で肝機能異常を言われた方、以前に肝臓疾患と言われたことがあり心配な方、一度HBV、HCV検査を受けてみたい方など、肝臓について気になる方はどうぞお気軽にご相談下さい。



文責：置塩伸也
(消化器内科 副医長)

市立福知山市民病院 脳神経内科のご紹介

脳神経内科は脳、脊髄、末梢神経、および筋肉の疾患を内科的に診療しています。頭痛、めまい、しびれ、手足の動かしにくさ、物忘れ、歩行障害など、気になる症状がございましたらお気軽にご相談ください。最新の検査機器と専門知識を活かし、患者様一人ひとりに寄り添った最適な治療を提供いたします。

主な対象疾患は脳血管障害、神経変性疾患（パーキンソン病など）、認知症（アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症など）、神経免疫疾患（重症筋無力症など）、てんかん、片頭痛などです。

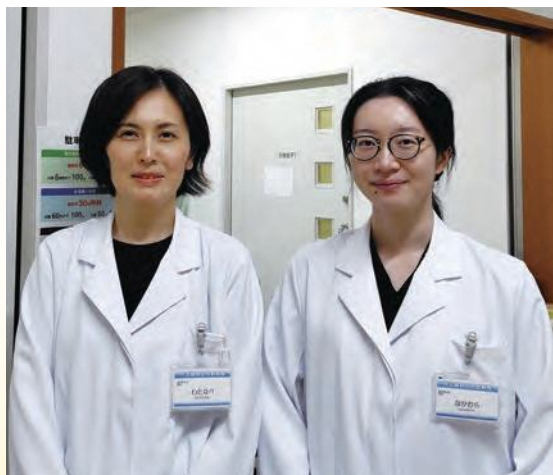


脳神経内科 医長
渡邊明子

特に、当科ではアルツハイマー型認知症の進行を抑える、新しい抗体治療を行っています。認知症の約7割を占めるアルツハイマー型認知症に対し最新治療である「抗アミロイドβ抗体薬」による点滴治療に対応しています。この薬は、脳内に蓄積して神経細胞を傷つける原因物質「アミロイドβ」を取り除くことで、病気の進行を緩やかにする新しいタイプの治療薬です。治療の対象となるのは、軽度認知障害（MCI）および軽度のアルツハイマー型認知症の患者様です。脳MRI、アミロイドPETや脳脊髄液検査などの精密検査を行い、適切な適応を判断した上で安全に治療を進めてまいります。「最近、物忘れが気になる」というご本人様やご家族様は、ぜひお早めにご相談ください。

「抗アミロイドβ抗体薬」については国内ではレカネマブ（販売名：レケンビ）や、ドナネマブ（販売名：ケサンラ）といった薬剤が使用可能となっています。これらは脳内のゴミとも言えるアミロイドβを免疫の力で除去し、認知機能低下の悪化を抑制することが期待されています。定期的なMRI検査による副作用（脳の腫れや微小出血など）の管理が必要となるため、当科では専門医のもと、ガイドラインに基づいた安全な治療体制を整えています。

京都府北部では抗アミロイドβ治療薬に対応する医療機関は限られていますが、当科では地域内で完結できる質の高い医療の提供を目指しています。



紹介元の先生方との情報共有にも努め、地域医療との連携も重視しています。

頭痛、しびれ、手足の動かしにくさ、物忘れ、歩行障害など、気になる症状がございましたらどうぞお気軽にご相談ください。



当院放射線技師が 「画論 33rd The Best Image」 優秀賞を受賞しました

「画論 33rd The Best Image」 優秀賞受賞

当院放射線技師の長倉健介技師・吉岡啓司技師が、キヤノンメディカルシステムズ株式会社主催の「画論 33rd The Best Image」(2025 年 12 月 14 日開催)において最終審査へ進出し、東京国際フォーラムで発表を行い、CT 部門優秀賞を受賞しました。



■ 発表演題

「Synthetic ECG による無鎮静下の小児胸腹部 CT 撮影」

■ 発表概要

小児 CT 検査では、鎮静と放射線被ばくの双方が重要な課題です。今回の発表では、無鎮静下での小児横隔膜ヘルニア評価を可能にし、低被ばくかつ鮮明な画像を取得するための工夫が高く評価されました。

画論は、全国から選ばれた優れた症例や技術が発表される権威ある学術発表会です。今回の受賞は、当院スタッフの高い技術力と臨床現場での創意工夫が全国レベルで認められたものといえます。



【技師コメント】

長倉健介技師・吉岡啓司技師

今回の発表では、検査協力が得られにくい小児 CT 検査における日頃の工夫や取り組みを評価していただき、大変うれしく思います。初めて最終審査で発表する機会をいただき、画論の規模の大きさに改めて驚かされるとともに、全国の施設から集まった多くの優れた発表に大きな刺激を受けました。

私たち放射線技師は、単に検査を行うだけでなく、病気を画像として可視化し診断へつなげる役割を担っています。そのためには、患者さんの状態を理解し、「いつもと何か違う」という小さな変化に気づく観察力と工夫が欠かせません。

これからも、わずかな変化を見逃さないために知識と技術を磨き続け、質の高い画像を放射線科医や臨床医へ届けることで、診断と治療、そして地域医療に貢献できるよう努めてまいります。





令和8年 採用医師紹介



科	写真	氏名・ひとことプロフィール	科	写真	氏名・ひとことプロフィール
皮膚科 医長		タカミ ソサナリ 高溝 真成 地域の皆様に寄り添い、信頼される皮膚科として質の高い医療の提供に努めてまいります。	総合内科		ハッタ アキフミ 八田 陽文 至らない点も多いですが、皆さまから学びながら真面目に頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。
脳神経内科		ナカムラ ミ サキ 中村 美咲 2026年4月より脳神経内科専攻医として勤務させていただきます。よろしくお願いいたします。	呼吸器内科		ゴンドウ コウセイ 権藤 航星 地域の皆様に信頼される医師を目指します。
消化器内科		ムカイ ヒロキ 向井 啓起 内視鏡診断・治療を専門としております。地域の皆様の健康増進に貢献できるよう頑張ります。	血液内科		タケダ 竹田 みゆき 福知山ならびに京都北部にお住まいの皆様が健やかな毎日を送っていただけますよう、誠心誠意務めます。
糖尿病内科		ツチヤ カ スアキ 土屋 嘉瑞明 患者様一人一人に寄り添った診療を心がけています。	整形外科		オトジ マタツト 音嶋 達斗 綾部から異動となりました。皆様のお役に立てるよう、精一杯努力させていただきます。
呼吸器外科		ニシイ マチコ 西井 真知子 患者様ひとりひとりに寄り添った診療を目指します。よろしくお願いいたします。	脳神経外科		コンノ ユウスケ 紺野 佑介 令和6年度の1年間、研修医として働いていましたが、脳神経外科として改めて赴任いたしました。
泌尿器科		ウツノミヤ マサノリ 宇都宮 匡徳 頻尿から悪性腫瘍まで、患者様の満足を第一に日々努力して参ります。	産婦人科		ナンバ 難波 ほのか 地域の皆さま一人ひとりに丁寧に向き合い、安心できる医療を提供できるように努めます。
眼科		ツツミ コウキ 堤 剛己 本年度より福知山市民病院に赴任しました堤剛己です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。	放射線科		コレエダ テツヒコ 是枝 哲彦 皆さんの健康のお役に立てるよう頑張ります。
地域救命救急センター		ツジカワ キ 辻 克規 皆様により良い医療を提供できるよう、日々精進して参ります。	専攻医 膠原病内科		キ ダ ユウシ ロウ 木田 祐之朗 地域の皆さまの健康で楽しい生活のため、少しでも貢献できるよう努めてまいります。
専攻医 消化器内科		イワイトモ ヤ 岩井 智哉 初期研修医から引き続きお世話になります。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。	専攻医 循環器内科		キタムラ コウイチ 北村 孝一 目の前の患者様に誠心誠意向き合う医療を心掛けて参ります。

しめじとブロッコリーのキッシュ

今回はブロッコリーを使ったレシピです。
暑い夏でも作りやすいレンジを使ったレシピになっています。



◆栄養価(1人分)…

エネルギー270kcal、たんぱく質15g、
脂質21g、炭水化物6g、塩分1.8g

～指定野菜とは～

ブロッコリーは2026年4月から
指定野菜に追加されました。
指定野菜とは、消費量が多い野菜で、
生産や出荷を安定させて、
いつでも野菜を食べられるように
指定されています。
β-カロテンやビタミンCなどの
栄養素が豊富です。
鮮やかな緑色でつぼみが固く締まり、
茎につやのあるもの
を選びましょう。

【材料】(2人前)

ベーコン……………2枚(30g)	調味料
卵……………2個	牛乳……………50cc
ブロッコリー………¼株(50g)	☆ 塩……………小さじ1/4
しめじ……………1P(100g)	こしょう……少々
ピザ用チーズ………30g	マヨネーズ…大さじ1

【作り方】

- ①しめじは根元を切り落とし、食べやすい大きさにほぐす。
ブロッコリーは小房に切り分け大きい場合は半分に分ける。
ベーコンは1cm幅に切る。
- ②平の耐熱容器に①を広げて入れふんわりとラップをし、
600Wで2分間加熱する。火の通り具合を見ながら調整して下さい。
- ③ボウルに卵を割り入れて混ぜ、☆調味料を加えて混ぜる。
- ④②に③を流し入れて、ふんわりとラップをし600Wで2分
間加熱する。全体を混ぜ、表面に具材が見えるように整える。
- ⑤ピザ用チーズをのせてふんわりとラップをし、600Wで
1分半加熱する。

医療費後払いクレジットサービス



会計待ち時間
ゼロに！

登録&
利用料
無料

市民病院では、診療後の会計を待たずにすぐ帰れる

医療費後払いクレジットサービス『ラク〜だ』

を導入しています。登録はパソコンまたはスマートフォンから簡単にでき、
登録料・年会費はかかりません。

準備いただく物

- ①診察券(カルテ番号・IDのわかるもの)
- ②メールアドレス
- ③携帯電話の番号
- ④クレジットカード

本サービスのご利用には事前登録(無料)が必要です。
診察前のご登録で、本日の会計からご利用いただけます。



詳しくは



二次元コードまたは、
「福知山市民病院 後払い」
で検索！

令和8年8月1日現在

【診療受付時間】 初 診：午前8時30分～11時
再 来：午前7時30分～11時
(前回受診より6ヶ月以内の方)
午前8時30分～11時
(前回受診より6ヶ月経過している方)

- * 月に1度は健康保険証を窓口にご提出ください。
- * 診察券はすべての診療科で共通使用します。
紛失しないよう大切に保管してください。
- * 都合により休診となる場合がありますので
ご了承ください。
- * 全科の再診・特殊外来は予約制となります。
- * 年末年始（12月29日から1月3日まで）

●がん相談支援センター●

当センターでは、がん患者さまやそのご家族の治療や療養生活について、さまざまな不安や悩みなどのご相談に応じて一緒に考え、解決していくお手伝いをしております。

窓 ☐ / 中央受付9番窓 ☐ (地域医療連携室)
受付時間 / 午前8時30分～午後5時15分 ※休日: 土・日・祝・年末年始
電話受付 / 0773-22-2101 (代表)

(8)